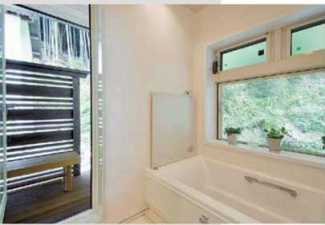


新築でも古民家のような
心温まる家を望む方へ

たとえ新築であっても「古民家」のような落ち着いた雰囲気を残した空間と、10年、20年先に味わえる増す空間を、と願う人が増えている。そういう「夫婦にぜひ見ていただきたいのがこちら「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」だ。

ご覧のとおり、築140年になる茅葺屋根の古民家をリノベーションした外観は、周辺の木立や草花と馴染む和の趣である。だが、引き戸を開けると中の雰囲気は、軒、テラコッタ風のタイルを敷き詰めた30畳にもなる土間が広がっているから目を見張る。料理や食事を楽しむキッチンコーナー、読書を楽しまれるような新ストロブのコーナー、そのすぐ横には音楽を楽しむコーナー……と、土間を中心に様々な暮らしのイメージが広がっている。

細かい部分までこだわりが行き届いたデザインもまた秀逸。歴史を感じる太い梁や柱に漆喰の塗り壁。日本の伝統的な建物と、欧州の古くから受け継がれてきた民家のモチーフとが調和するこの絶妙なセンスを探して読む者も多いのではないだろうか。古くてもつくった人や使う人の人柄が伝わるモノたちが持つ温もりや雰囲気をお愛しく感じ、歳月を経てなお魅力的な表情になる、またはそんな可能性を持った住まいを好む人なら、きっとこの「風のくら」を気に入るはず。家づくりのヒントをたくさん見つけてほしい。



開放的なバスコートのある浴室



(上)ポタニカルアートが似合いそうなナチュラルかつエレガントな寝室。(左)トイレ。(右)洗面所も「ハウスランド社」オリジナル。家づくりの参考に。

MODEL HOUSE DATA
古民家スタジオ「風のくら」
〒福岡県筑紫野市大字山口2122
☎092-555-5530 www.kazekura.com

OFFICE DATA
株式会社 ハウスランド社
〒福岡県春日市天神山2-83 ☎092-593-2220 www.h-hand.jp

ここで紹介した
展示場はココ

「蔵のショールーム」は、1階にインテリアや小物・照明器具類を展示。2階を「男の隠れ家」というコンセプトで、ホームシアターやオーディオを楽しむスペースとしている。植内珪藻土を採用した壁は、多様なパターンで仕上げられているので、インテリアの参考にもなる。写真右が蔵の書斎。見学はお気軽に。



スロロライフな
住まいと暮らしを愉しむ

玄関だけでなくキッチンやダイニング、リビングまでがすべて土間。「風のくら」が提案するそんな土間スタイルの暮らしは、家の内と外とをゆるやかにつなぎ、人と人との距離を近くしてくれる。

たとえば、親しい「近所さん」が訪ねてきた時「靴を脱いで上がるのも面倒だから……」、玄関先で立ち話になることが多いでも、土間空間なら靴のままキッチンやダイニングへ。カフェ感覚でお茶をしながらゆっくりと話ができる。ホームパーティーの楽しみが広がります。

土だと湿気がこもる床も、タイルならその心配もなし。窓をペアガラスにして床下や壁に断熱材を入れたり、土間と相性のいい新ストロブを置いたりと寒さ対策のアイデアも現代なら万全。夏は涼しく冬は暖かな土間スタイルの暮らしが叶えられる。

「リフォームに耐え得る古民家をお持ちの方は多く限られていると思いがすが、こうした土間スタイルの家は新築でもリフォームでも取り入れることができます。ぜひご相談ください。そう話すのは「ハウスランド社」のスタッフたち。

確かに「風のくら」には和風からプロヴァンス風、ヨーロッパアンティーク風など、様々な雰囲気の空間があり、それぞれに造作家具も設えられている。設計からインテリアコーディネートまですべて女性スタッフが行なっているのも、暮らしやすさ、使いやすさに徹したアドバイスをもらえるのが頼もしい。



MODEL HOUSE
ハウスランド社 モデル住宅「風のくら」

古民家スタイルが好き！ 西洋漆喰と無垢の木の家づくり
やすらぎのモデル住宅公開中

美しい自然が息づく広大な敷地に建つ「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」。ここは、和洋のデザインセンスを調和させた広い土間を持つ「現代版の古民家」。古民家風の家をお考えの方、必見です。

1.バブリック空間でもある土間と茶の間や個室などのプライベート空間の間に内玄関を設けると、カフェやギャラリーのような雰囲気に。2.引き戸はアンティーク様だが建具からすべて新しいオリジナル製品。1枚1枚違う表情を見せるアンティーク調のガラスはフランス製。3.客間や茶の間など柔軟に使える和室は純和風の設置。丁寧な仕事で細部にも見て取れる

